

令和5年度 第4回播磨町地域公共交通活性化協議会 議事概要

日 時	令和6年3月21日(木) 10時00分～11時00分
場 所	播磨町中央公民館 視聴覚室
出席者	<p><b>【委員】</b></p> <p>中島 直實(播磨町自治会 南部コミセン区代表)          福壽 実(播磨町自治会 西部コミセン区代表)          伊部 豊昭(播磨町自治会 野添コミセン区代表)          安川 尚希(播磨町社会福祉協議会 生活支援コーディネーター)          富澤 真(播磨町新島連絡協議会 交通部会長)          米田 隆敏(播磨町商工会 理事)          梅澤 宏行((一社)兵庫県タクシー協会東播支部)          日野 真輔(神姫バス(株)加古川営業所 所長)          山本 記義(神姫バス労働組合 組織部長)          田中 京子(代理)(西日本旅客鉄道(株)近畿統括本部兵庫支社 主任)          伊藤 光一(山陽電気鉄道(株)鉄道事業本部 リーダー)          中西 克之(国土交通省神戸運輸監理部兵庫陸運部 企画調整官)          坂上 哲也(播磨町都市基盤部 部長)          井本 淳(代理)(兵庫県加古川警察署交通第一課 係長)          北川 博巳(近畿大学総合社会学部総合社会学科環境・まちづくり系専攻 准教授)</p> <p><b>【事務局】</b></p> <p>松本 弘毅(企画総務部長)          筒井 和秀(企画課長)          野中 照代(企画課公共交通活性化担当課長)          丸井 直樹(企画課政策調整係主査)</p> <p><b>【町公共交通担当】</b></p> <p>安立 圭一(都市計画課長)          芦澤 千春(都市計画課計画調整係長)          田中 孝太(都市計画課主事)</p>
欠席者	<p>尾崎 敏(播磨町自治会 東部コミセン区代表)          新屋敷 昭一((公社)兵庫県バス協会 専務理事)          藤澤 伸和(兵庫県東播磨県民局加古川土木事務所 所長補佐)          平野 祐次(播磨町 副町長)          新田 博史(兵庫県土木部交通政策課 副課長兼地域交通班長)          佐伯 亮太(播磨町まちづくりアドバイザー)</p>
議事次第	<p>1.開会          2.あいさつ          3.協議事項          (1)播磨町地域公共交通計画(案)に関する意見募集実施結果について</p>

(2) 播磨町地域公共交通計画（最終案）について

#### 4. 報告事項

(1) 加古川駅・東加古川駅～土山駅南口線の休止について

(2) かこバスミニ路線の導入について

#### 5. その他

#### 6. 閉会

### 1. 開会

### 2. あいさつ

(会長)

播磨町地域公共交通活性化協議会の令和5年度の目的は地域公共交通計画を作成することで、現在、パブリックコメントが終わり、最終的な段階である。播磨町の地理状況、人口、公共交通を取り巻く現状や、これから検討・実施する事業など、将来を見据えた良い計画になっていると思う。

### 3. 協議事項

(事務局)

資料1 「播磨町地域公共交通計画（案）に関する意見募集実施結果について」説明

(会長)

資料1に関して、ご意見、ご質問等はあるか。

パブリックコメントで頂いた意見のうち、計画に反映させるものは無かったが、今後の施策の参考になるものであるため、引き続き検討していくということとしている。

(事務局)

資料2 「播磨町地域公共交通計画（最終案）について」説明

(会長)

計画最終案について議論を進めていく。計画の概要、公共交通を取り巻く現状があり、パーソントリップ調査の結果からは、播磨町では独特な公共交通の使われ方をされていると以前お話しさせていただいた。現状を踏まえ、アンケート調査や住民意見交換会を積み重ねた上で課題を抽出した。今日の説明で、お気づきの点があればお伺いしたい。

(意見なし)

これを播磨町の地域公共交通計画として、令和6年4月から推進していく。協議事項は以上である。続いて報告事項に入る。

### 4. 報告事項

(神姫バス)

資料3 「加古川駅・東加古川駅～土山駅南口線の休止について」説明

(会長)

何かご意見、ご質問等はあるか。路線再編の報告である。加古川市域と土山駅の間を結ぶ路線で、播磨町内のバス停における利用者が少ないという話であった。路線バス利用の活性化に向けた施策を播磨町地域公共交通計画に沿って考えていかないといけない。

続いて報告事項2 かこバスミニ路線の導入について、事務局より説明をお願いする。

(事務局)

資料4 「かこバスミニ路線の導入について」説明

(会長)

何かご意見、ご質問等はあるか。ルートについては、特に該当の地域の委員方から意見があれば伺いたい。

(委員)

かこバスミニ路線の導入については、本日中に加古川市に運行時間や運行路線を報告することになっている。運行ルートの要望など、この場に出た意見はまだ間に合うため、ご意見を頂きたい。

(会長)

かこバスミニが播磨町内を走行するというので、加古川市とどういう形で連携するのか教えていただきたい。

(事務局)

加古川市地域公共交通会議と播磨町地域公共交通活性化協議会のそれぞれで議題として審議する。全体の路線やダイヤ編成等は加古川市主導で行うが、それぞれの市町で情報共有、確認をしながら詳細を詰めている。

(会長)

費用負担はどうなるのか。

(事務局)

路線全体にかかる費用を距離按分で負担する。

(会長)

連携のもとで進めていくというのが大前提である。大中地区もルートに含まれるため、公共交通が充実すると思う。かこバスミニの運行については、5月に開催する次回の協議会に向けて引き続き議論していただきたい。

それでは、次第5 その他について、事務局から説明をお願いする。

## 5.その他

(事務局)

事務局から2点お伝えする。本日追加で配布した2024年4月山陽バス二見線の一部見直しについて、山陽バス株式会社より情報提供があった。当該路線は公共交通計画に位置づけされたものではなく、町の補助対象路線でもないため、本来であれば本協議会で協議する案件ではないが、路線の一部が町域である東新島にかかることから情報提供という形で委員の皆様にもお示しさせていただいた。山陽バス株式会社からの報告内容としては、ダイヤと運行本数の見直しだが、今後運休も検討されるとのことである。なお、この件は、明石市と山陽バスで今後の対応について検討していくと聞いている。状況によっては、本協議会で改めて情報提供させていただく。

(会長)

これについて、ご意見、ご質問あるか。  
その他に報告事項あるか。

(事務局)

年度末ということで、令和6年度の予算案をお示しするタイミングだが、現在のところ令和6年度の協議会としての予算は生じないことから、令和6年5月に予定している次回の協議会では決算報告のみと考えている。

(会長)

令和5年度は予算の執行があったため、次回の協議会で決算報告をするということである。これで報告事項は以上となる。せっかくお集まりいただいたので、お一人ずつ感想などコメントをいただきたい。

(委員)

町南部は路線バスが少ないので、地域内交通の充実について検討が必要ではないかと思う。例えば、加古川市で運用されているチョイソコを参考に、播磨町でもデマンド交通を導入して欲しい。南部コミセンの自治会でもデマンド交通があるといいという話が出ているので、今後検討してもらえたらと思う。

(会長)

デマンドが流行しており、近隣市町で運行を開始しているため検討いただきたいとのことである。どの地域も急に運行を開始したわけではなく、ニーズを把握し、事業者を探して、段階を踏んで時間をかけている。急にはできないと思うが、検討する価値はある。施策2にも盛り込んでいるので、今後検討してもらいたい。

(委員)

実施にあたり計画を常々見直しをしていく必要がある。意見交換をしながら、ある程度の時期に計

画を見直す柔軟性が必要である。町民の年齢層が変わると考え方も変わると思う。柔軟な対応によって播磨町がもっと良くなればいいと思う。

(委員)

高齢者、自転車に乗れなくなった人、免許返納した人の移動手段をどう確保するかを考えている。地域で助け合いながら買い物代行などを行っているが足りていないのが現状である。

資料3の高畑から北野添2丁目の路線見直しは、人口が多い地域のため心配しているが、細かく検討頂いていることに敬意を表したい。細やかに意見交換をしながら計画をレベルアップしていただきたいと思う。

(委員)

2月の下旬に社会福祉協議会で4週連続の講座を開催した。普段は自転車で来られているご高齢の参加者がいたが、4回中2回雨が降り、タクシーの手配ができず欠席するという連絡が2～3件あった。また、中には友人に送ってもらったという方もいた。社会福祉協議会の建物は南大中にあるが、そこまでの移動手段が確保できずに参加を見送った方もいた。移動手段が無いことで社会参加の機会が失われている。地域内交通の話が計画書の中にあったが、住民の皆様にもご協力いただき、ボランティアによる移動支援の立ち上げも期待しながら進めていければと思う。

(委員)

今年度協議会に参加して、交通事業者を取り巻く厳しい環境や播磨町内の公共交通の現状と将来の方向性がよく理解できた。今後もバランスを取りながら、町内の商工業者の活性化につながるような良い施策を継続して検討していければと思う。

(委員)

チョイソコの走行エリアは交通過疎地なので、播磨町とは状況が全く異なる。それを踏まえて、タクシー事業者として播磨町に適した形のデマンドを提案させていただきたいと思っている。

(委員)

10月に加古川市から土山駅南口線の休止を検討していると報告させていただいた。利用状況を見ると、高齢化で利用者が減少している。先日の住民意見交換会に参加した中学生が、雨の日は路線バスを使いたいと言っていたように、雨の日はバスの利用者が多くなるが、それだけではバス事業者として収支が成り立たない。どうすれば収支状況が改善できるのか、補助金をいただくのか、経営を効率化して利用者が見込める路線に集約するのか、色々な方法はあるが、少しでも路線バスを残し、利用できるまちになればと考えている。

また、4月27日にははりま春風フェスが開催される。新型コロナウイルス感染症が5類に引き下げられたということで、バス事業者も参加させていただき、バスの展示や人員確保にむけた乗務員募集のブースを設ける予定である。

(委員)

公共交通事業者として、公共交通空白地を無くしていくのが大きな目標である。協議会でしっかり

と話をし、地域の方の足を確保していくことが必要になるが、我々も事業としてやっている。運転手の人員確保等、さまざまな経費が必要になることを皆様にもご理解いただき、今後もこの協議会が発展するようお願いしている。

(委員)

播磨町内にはJR土山駅がある。最新の公表実績である2022年度の利用者数は、コロナ禍前の90%程度である。5月ごろに2023年度の利用状況が公表されるので、次回以降の協議会で共有できればと思う

(委員)

山陽電鉄では、クレジットカードのタッチ決済や、QRコード決済による乗車を2025年春よりスタートさせる。これまでは乗車券を券売機で購入して頂いていたが、社会情勢を鑑みると、ICカードやQRコードに置き換わりつつある。利用が難しいと感じるお客さまもいらっしゃるかもしれないが、より便利にご利用しやすいサービスを進めていきたいと思うので、ご理解ご協力いただきたい。

(委員)

警察では、高齢のドライバーに免許証の返納などの案内をしている。返納件数は年々増えてはいるが、返納後の交通手段がない方や、生活に支障が出てしまうため返納できない方がいらっしゃる。返納後も利用できる代替の公共交通手段の充実に協力したい。

(委員)

この度は、地域公共交通計画の作成にあたり、ご協力、ご議論いただき厚くお礼申し上げます。令和6年度の予算を3月定例会で可決いただいた。この中で、立地適正化計画を策定する予算を計上している。立地適正化計画はコンパクトシティ実現のための計画であり、立地適正化計画と地域公共交通計画は密接な関係にある。今後播磨町は、まちづくりと一体で公共交通を考えていきたいと思うので、引き続きご協力をお願いしたい。また、今後の協議会の体制について、現在は事務局を企画課が担当しているが、令和6年度からは都市計画課が担当する。今後、計画に位置付けられた事業の実施に関する議論をこの協議会でしていただきたいと思う。

(委員)

前回の協議会でも意見があったように、町民の中で地域公共交通計画を知らない方がいるとお聞きする。これから事業を実施していくが、まずは町民に知っていただく取組をするということと、知っていただいた上で全町民が一丸となって施策を進める必要がある。実施していくと見直しが必要な場面や、見直しにあたりレベルアップが必要な場面があるかもしれない。これからの正念場である。

(委員)

まとまりのある計画で、今できる精一杯の内容になっていると思う。茨の道かもしれないが、今時点の議論としては良い形でまとまっているのではないかと思う。来年度からは別の者が後任になるがよろしくをお願いしたい。

(会長)

資料1のパブリックコメントの結果を見ると、これからも播磨町で暮らしていく方の大事な意見だと思う。移動に困っている町民をケアする必要がある一方で、交通事業者の視点では採算が合わないため路線を再編しなければならないという路線がある。交通事業者としてもICTの活用による利便性向上を図っているが、これを享受出来ない人をどうするか考えないといけない。交通事業者も利用者が増えれば出来ることが増えるので、どのように情報を発信していくかが重要である。

また、事務局の担当部署が変わり、計画を実施する段階になる。住民のニーズを的確に把握することが大事なので、意見交換などはこれからも続けていただきたい。計画が完成しやり切った感があるが、ここからがスタートである。

本日予定していた議事はこれですべて終わりとなるので事務局にお返しする。

(事務局)

最後に神姫バスより報告がある。

(神姫バス)

神姫バスの路線バスは4月1日よりダイヤ改正を実施する。既に弊社ホームページ等ではご案内しており、各バス停にも掲出している。弊社の時刻表検索サイト、各バス停の時刻表をあわせてご確認いただき4月1日よりご利用いただければと思う。

## 5. 閉会

(事務局)

令和4年度から本日まで計5回の協議を経て、無事計画が出来上がった。計画は作って終わりではなく、ここから始まっていくものである。まだまだ住民の方に正確に理解いただけていない部分もあるのではないかというご意見もあるので、計画を基に住民、企業の皆様、公共交通事業者、行政が一丸となって公共交通について勉強していけたらと思う。事業の実施に向けて、検討、調査を進めていくので引き続きご協力をお願いする。

以上をもって、令和5年度第4回地域公共交通活性化協議会を閉会する。

以上